

平成30年度海外留学支援制度（学部学位取得型）

申請の手引き

【1】応募提出までの流れ

1. 応募書類の入手：

募集要項、Q&A、申請の手引き、願書ファイル（様式1～6）、推薦状【推薦者用】、連絡人（保護者）届出書兼同意書及び出願書類確認表を入手・確認してください。

※インターネット接続及びMicrosoft Excelが必要です。

2. 応募要件を満たしているか確認

※1つでも該当しない項目がある場合は応募できません。

3. 在籍学校等に書類の作成を依頼

提出書類のうち、在籍学校等に作成を依頼する書類について、余裕をもって依頼してください。

4. 事前登録【※平成29年11月13日（月曜日） 正午 締切】

応募は、オンラインシステムを通じて行います。応募に先立ち、以下のアドレスから事前登録を行ってください。締切時刻までに事前登録を行わないと、応募することができません。余裕を持って事前登録を行うようにしてください。

事前登録の翌営業日に、オンラインシステムのアカウント情報を登録Eメールアドレス宛てに連絡します。

<https://www.saiyo-dr.jp/jasso-ryugaku/Entry/top.jsp>

5. 申請書類の作成

- ・願書ファイル（様式1～6）については、Microsoft Excelで作成してください。
- ・推薦状及び調査書については、厳封のまま提出します。
- ・それ以外の書類・証明書類については、1つのPDFに統合してください。

6. 申請書類の提出【※平成29年11月15日（水曜日） 17時 必着（オンライン・郵送）】

【オンライン提出】

- ・願書ファイル（様式1～6）については、ファイル名を「○○_H30 様式.xlsx ※○には氏名を入力」とした上で提出してください。
- ・PDF形式にて提出する書類は、所定の順番に並べた上、1つのファイルに統合し、ファイル名を「○○_申請書類.pdf ※○には氏名を入力」にしてください。PDF作成の際は、空白ページが生じないように、関係書類をA4版・片面印刷に統一してください。

【郵送提出】

推薦状及び調査書については、厳封のまま、配達記録の残る郵便又は宅配便にて提出してください。

【2】応募の準備

1. 応募書類の入手

以下、ホームページからの次に示すファイルを全てダウンロードしてください。

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/gakubu/index.html

- **募集要項**
⇒ 応募資格や支援内容について必ず確認してください。
- **Q&A**
⇒ 疑問点について、まずはQ&Aで確認してください。
- **申請の手引き**
⇒ 本紙です。申請書作成前に必ず読んでください。
- **願書ファイル（様式1～6）（入力例）**
⇒ 願書ファイルの作成方法や、作成にあたっての注意事項を示しているなので、よく確認してください。
- **願書ファイル（様式1～6）**
⇒ 本Excelファイルに入力して、願書データを作成してください。
- **推薦状【推薦者用】**
⇒ 本様式を用いて、在籍する学校の学校長に作成を依頼してください。なお、開封された推薦状は無効となります。
- **連絡人（保護者）届出書及び同意書**
⇒ 本様式を印刷し、手書き・押印の上、PDF化して提出します。連絡人は日本国内在住の成年であることが必要です。
- **出願書類確認表**
⇒ 本様式を印刷し、手書きでチェックした後、PDF化して提出します。

（次頁へ続く）

2. 応募要件を満たしているか確認

本制度に応募できるのは、日本国籍又は日本への永住許可を有する者（特別永住者を含む。）で、以下の全ての要件を満たす者です。募集要項をよく読み、応募申請できる要件を確認してください。疑問についてはQ&Aを参照してください。以下のうち、**1つでも該当しない項目がある場合は応募できません。**

チェック欄	内 容
	① 留学期間終了後、将来的に以下のいずれかの活動を行う意思を有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や研究機関等において、我が国の国際競争力の強化や国際社会への知的貢献に資する教育研究を行う。 ・国際機関等の中核的な職員として国際貢献に資する活動を行う。 ・上記の活動に類する活動を行う。
	② 国費による制度の支援を受けて自身が留学で得た経験や成果を将来にわたって日本社会に還元し、国や社会に貢献する者で、機構が依頼する各種イベントへの参加、書籍への執筆、調査等に協力すること。 ※留学先での日本のPRの実施や、帰国した際に留学報告会並びに留学経験を踏まえた社会貢献活動への参加を将来にわたって行うことも含まれます。これらの活動状況については、留学中及び支援期間終了から5年の間、年に1回実施する「派遣学生状況調査」の際に報告していただきます。
	③ 応募時点において、既に海外の大学又は大学準備コース等に入学していない。また、応募の時点において、国内外を問わず高等教育機関(大学、大学院、短期大学、高等専門学校(4年次以上)、専修学校(専門課程))に在籍していない。
	④ 平成29年4月～平成30年3月に日本の高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校の高等課程を卒業するか、高等専門学校の3年次を修了する、若しくは申請時点において高等学校卒業程度認定試験に合格しているかのいずれかであり、かつ平成30年4月1日現在22歳未満(21歳以下)であること。 ※卒業する学校は、海外の高等学校や日本国内のインターナショナルスクールではないことが要件です。 ※高等学校卒業程度認定試験合格者については、合格年度は問いません。
	⑤ 上記④の卒業学校長から推薦状を取得できる。 ※高等学校卒業程度認定試験合格者を除きます。
	⑥ 留学期間開始時から終了時まで間に、留学先大学以外の大学(短期大学を含む)・専修学校専門課程・高等専門学校及び海外の教育制度においてこれらの課程に相当する課程に在籍していない、かつ企業等に雇用されていない(短時間労働者を除く)。
	⑦ 支援開始までに留学先大学の入学許可(「条件付」を除く。)を得ることができる。 ※支援開始時までに条件のない入学許可を得ていることが確認できない場合は、採用を取り消します。(日本の教育制度との相違から学部入学前に留学生全員が大学入学準備コースを修了する必要がある大学に留学する場合を除く。) ※語学力が入学条件に達していないなどの理由で、大学が指定する語学学校等で履修することを条件とした「条件付」入学許可を得た場合、語学研修期間等については支援期間に含まないため、平成31年3月31日までに学位取得のための正式な教育課程に入学したことが確認できない場合は、採用取り消しとなります。 ※日本の教育制度との相違から学部入学前に留学生全員が大学入学準備コースを修了する必要がある大学に留学する場合については、準備コースの支援開始までに、学士号を取得する予定の留学先大学から「大学入学準備コースの修了を条件とした入学許可書」をもって、留学先大学の入学許可を得ていることとみなし、大学入学準備コースの入学許可と留学先大学からの入学許可(「大学入学準備コースの修了を条件とした入学許可書」)の取得を確認した上で、支援を開始します。但し、大学入学準備コース終了後、正式に学部課程に入学することが確認できない場合は、その時点で支援を打ち切ります。

	<p>⑧ 応募締め切り日から過去2か年以内に受験した英語能力試験又は語学能力試験が、次の水準以上である。</p> <p>i) 留学先大学での主たる使用言語が英語である者 TOEFL iBT(Internet-based Test)の得点が72点、又はIELTS 5.5(Academic Module)以上である ※留学先大学が求める英語能力に関わりなく、上記基準を満たしていることが応募の条件となります。</p> <p>ii) 留学先大学での主たる使用言語が英語以外である者 ア. 留学先大学が求める語学能力を具体的な点数等で明示している場合は、留学先大学が明示する語学能力以上である者 イ. 留学先大学が求める語学能力を具体的な点数等で明示していない場合は、留学先大学の入学許可書をもって語学能力を満たすものとする。</p>
	⑨ 留学先大学での勉学に耐えられる健康状態である。
	⑩ 留学中の本人に代わり、事務手続き等において、国内で確実に日本語にて連絡を取ることができ、安全確認等を行うことができる連絡人を有する。
	⑪ 芸術実技分野以外の、学士(Bachelor)の学位が取得可能な分野への留学である。
	⑫ 留学先大学は、日本国外に所在し、かつ、 外務省海外安全ホームページにて「レベル2:不要不急の渡航はやめてください」 以上に該当する地域に所在しない。
	<p>⑬ 留学先は、学士(Bachelor)の学位が取得可能な課程である。</p> <p>※大学で学士の学位を取得するために、まず短期大学や専修学校等に入学し、その後、大学に編入学して学士の学位取得を目指す場合については本制度に応募できません。</p> <p>※学士・修士一貫課程、Bachelor以外の学位を授与する課程の場合は本制度に応募できません。</p> <p>※日本の教育制度との相違から学部入学前に留学生全員が大学入学準備コースを修了する必要がある大学へ留学する場合は、当該コースの年数も含めて支援期間とします。ただし、留学開始時(支援開始時)に留学先大学の入学許可を得ていることを条件とします。また、当該コースの延長はできません。なお、大学入学準備コース修了後速やかに申請書類に記載した留学先大学へ入学しない場合は本制度による支援を終了します。</p>
	<p>⑭ 平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に学位取得のための正式な教育課程での学修活動を開始する。</p> <p>※日本の教育制度との相違から学部入学前に留学生全員が修了する必要がある大学入学準備コースに入学する場合は、当該コースの学修活動を平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に開始すること。</p> <p>※大学が指定する語学学校等で行う語学研修期間等については支援期間に含めません。平成31年3月31日までに学位取得のための正式な教育課程に入学したことが確認できない場合は採用を取り消します。</p>

※以上の全ての応募要件を満たしていることが確認できたら、申請書類の準備を始めます。

本手引きをよく読んで書類を作成・準備してください。

なお、応募要件は、事前登録時にも改めて確認します。

(次頁へ続く)

3. 在籍学校等に書類の作成を依頼

推薦状、卒業見込み証明書（又は修了見込み証明書）、調査書（又は成績証明書）等、在籍学校等に作成を依頼する書類については、提出期限に間に合うよう余裕をもって依頼してください。

なお、全ての書類が揃わない場合は応募出来ませんのでご注意ください。

4. 事前登録

応募には、事前登録が必要です。事前登録は、機構ホームページより以下の期日までに行ってください。期日までに事前登録した方に、EメールにてオンラインシステムへのログインIDとパスワードを通知します。

なお、事前登録又は応募のいずれか一方でも提出期限を過ぎた場合は、いかなる理由があっても応募を受け付けかねますので予めご了承ください。また、締切直前はアクセスが集中するため、余裕を持ってご提出ください。アクセス集中やインターネット環境の不具合を原因として登録が出来なかった場合でも、救済措置はないのでご注意ください。

登録期日：平成29年11月13日（月曜日） 正午 【厳守】

登録先 : <https://www.saiyo-dr.jp/jasso-ryugaku/Entry/top.jsp>

5. 申請書類の作成

ダウンロードした願書ファイル（様式1～6）（Microsoft Excel形式）を基に、願書情報を作成します。所定様式で提出するものは全てこのExcelファイルで作成してください。Excelファイルの黄色くハイライトされた箇所は必須入力箇所です。

願書ファイル（様式1～6）以外の申請書類は、応募者がPDFを作成します。但し、調査書及び推薦状については、厳封のまま郵送にて提出します。

なお、提出後、不備の差し替えや機構でのフォローアップは一切行いませんので、全て整った状態で提出してください。

※No.1～No.6のデータについては、「願書ファイル（様式1～6）」のExcelファイルで作成し、提出します。

1 願書（様式1）【Excelデータ】

- ・「様式1」の黄色で示されている欄は必須入力箇所です。入力すると白くなります。必ずExcelファイルで作成してください。
- ・入力時はセルのコメントに従い、選択式の際は該当するものを選択してください。選択肢を誤るとデータが正しく反映されないなので、注意してください。
- ・作成後、所定の位置に写真データを貼付してください。
- ・希望大学は、3大学まで申請することができます（第2希望、第3希望の申請は任意）。

（次頁へ続く）

〔記入例〕 1 願書（様式1）

応募者がセル黄色塗りの箇所を入力してください。データが入力されれば白くなります。本シートの様式は変更しないでください。本様式はA4用紙1ページで印刷されるサイズです。
写真データ貼付のうえ、提出してください。

Excel

様式1
(A4判)

1 願書

平成30年度(2018年度)海外留学支援制度(学部学位取得型)願書

フリガナ	キコウ	ウミコ	国 籍	日本
氏 名	機構	海子	性 別	女
ローマ字	KIKO	UMIKO		
生年月日	平成12年4月1日	年 齢	18	才 (平成30年4月1日現在)
現住所	〒 123-4567	東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇	年齢は入力不要です (自動計算します)。	
電話番号	03-5520-6014	ファックス番号	03-5520-6015	
メールアドレス	gakubugakui@jasso.go.jp			
語学能力試験点数	TOEFL iBT 105点			

【全般】

本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。

各入力欄を選択すると、注意書きが表示されます。

緑塗りのセルは、プルダウンから該当を選択してください。

一部については、選択した内容により、必須入力箇所が変わります(その場合、セルの黄色塗りが変わります)。

I. 在籍学校情報 (平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に卒業する学校等の在籍学校等)			
1. 高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部			
認定試験合格年月日(4を選択した者)			
※以下、高等学校卒業程度認定試験合格者は記入不要。			
都道府県	東京都	国公立	公立
学校の種別	全日制		
学校名(正式名称)	東京都立日本学生支援高等学校		学科・コース
	普通科		

II-1. 留学先情報(第1希望)			
大学名	UNIVERSITY OF JASSO	(日本語名)	ジャッソ大学
学部・学科名	SCHOOL OF LIBERAL ARTS, DEPARTMENT OF SOCIAL SCIENCES	(日本語名)	教養学部 社会科学専攻
取得予定学位名	Bachelor of Arts in Political Sciences	(日本語名)	学士(政治学)
所在国(地域)	アメリカ合衆国	求められる語学能力	TOEFL iBT 80点
所在都市	ボストン	正規の学部課程での留学期間	平成30年8月20日 から 平成34年6月30日
住所	600 Atlantic Avenue, 22nd Floor Boston, MA 02210		
入学許可書の状況	有(条件付)	条件付きの場合の条件内容	高等学校を所定の成績以上で卒業すること
大学入学準備コース	必須ではない	※日本の教育制度との相違から準備コースの履修が必須となる場合のみ「必須」を選択すること。	

II-2. 大学入学準備コースについて【※語学能力不足を補うための語学コースは支援対象外なので記載不要です】			
履修機関名	(日本語名)	所在国(地域)	
コース等の名称	(日本語名)	所在都市	
住所			
準備教育課程期間		から	

入学許可書の状況で「有」を選択した場合は、入学許可書を提出してください。

III-1. 留学先情報(第2希望)			
大学名	SHIENKIKO UNIVERSITY	(日本語名)	シエンキコウ大学
学部・学科名	FACULTY OF LAW	(日本語名)	法学部
取得予定学位名	Bachelor of Law	(日本語名)	法学士
所在国(地域)	英国	求められる語学能力	TOEFL iBT 80点 又は IELTS 6.0
所在都市	ロンドン	正規の学部課程での留学期間	平成31年9月17日 から 平成34年7月30日
住所	101-104 Piccadilly London W1J 7J		
入学許可書の状況	無(選考中)	条件付きの場合の条件内容	大学入学準備コースが必須の場合に限り、平成31年4月1日以降の開始も可能です。
大学入学準備コース	必須	※日本の教育制度との相違から準備コースの履修が必須となる場合のみ「必須」を選択すること。	

II-2、III-1、III-2、IV-1及びIV-2は、該当がある場合のみ入力してください。

III-2. 大学入学準備コースについて【※語学能力不足を補うための語学コースは支援対象外なので記載不要です】			
履修機関名	SHIENKIKO UNIVERSITY	所在国(地域)	英国
コース等の名称	FOUNDATION COURSE J	所在都市	ロンドン
住所	101-104 Piccadilly London W1J 7JT		
準備教育課程期間	平成30年10月1日	から	平成31年8月8日

大学入学準備コースは、平成30年4月1日～平成31年3月31日開始が要件です。

IV-1. 留学先情報 (第3希望)		
大 学 名	II-2、III-1、III-2、IV-1及びIV-2は、 該当がある場合のみ入力してください。	(日本語名)
学部・学科名		(日本語名)
取得予定学位名		(日本語名)
所在国(地域)	求められる語学能力	
所在都市	正規の学部課程での留学期間	から
住所		
入学許可書の状況	条件付きの場合の条件内容	
大学入学準備コース	※日本の教育制度との相違から準備コースの履修が必須となる場合のみ「必須」を選択すること。	
IV-2. 大学入学準備コースについて【※語学能力不足を補うための語学コースは支援対象外なので記載不要です】		
履修機関名	所在国(地域)	
(日本語名)	所在都市	
コース等の名称		
(日本語名)		
住所	他の奨学金に申請している場合は記入してください。他に申請している奨学金が無い場合は「無」と記入してください。	
準備教育課程期間		
※大学入学準備コースから開始する必要がある場合は、本制度に採用された際には、まず大学入学準備コースの期間を支援期間とします。修了後は、IIに記載した正規の学部課程への進学が確認できた場合、支援の継続を行います。		
留学のために申請中の他の奨学金	University of JASSO Scholarship、日本学生支援機構第二種奨学金(海外)	
平成 29 年 10 月 1 日	氏名	機構 海子

2 履歴書 (様式2) 【Excelデータ】

- ・「様式2」に、学歴、職歴、表彰等の実績等を記入してください (関係年月日を記入してください)。
- ・高校での活動で校長賞などの表彰を受賞しているなど、顕著かつ明確な実績がある場合は、面接審査においても確認する場合があります。
- ・必要に応じて、行の増減や欄の大きさを変更して構いませんが、A4版1枚以内に収まるように作成してください。
- ・虚偽記載や、学歴や職歴の記載漏れが発覚した場合には、支援開始後であっても採用を取り消すと同時に、既に支給している奨学金及び授業料を返還いただきます。

〔記入例〕 2 履歴書 (様式2)

必要に応じて行を増やしても差し支えありませんが、1枚(A4判)で作成してください **Excel**

【全般】
本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。

氏名 機構 海子

様式2

2. 履歴書

必要に応じて、行の増減や欄の大きさを変更して構いません。ただし、A4判1枚で提出してください。必ず現在の所属は記載してください

(1) 学歴・職歴

年 月	学歴・職歴
平成27年4月6日	東京都立日本学生支援高等学校入学
平成30年3月10日	東京都立日本学生支援高等学校卒業見込み

(2) 免許・資格

年 月	免許・資格
	必ず目的を選択してください。

(3) 過去の海外経験

目的(※)	期間(西暦表記)	国・地域
旅行 (留学) 留学・居住	2013/8	インド
旅行 (留学) 留学・居住	2015/7~2015/8	オーストラリア・シドニー

※あてはまるものに○を付けること。

(4) 各種活動における表彰等の実績(任意)

年 月	表彰等の実績・活動状況
	高校での活動で校長賞などの表彰を受賞しているなど、顕著かつ明確な実績がある場合は、面接審査においても確認する場合があります。

※3つまで記載すること。

3 留学を志す理由、留学計画及び卒業直後の進路計画（様式3-1～3-3）【Excelデータ】

- ・「留学を志す理由」「留学計画」「卒業直後の進路計画」の3項目について、それぞれA4版1枚ごとに作成してください。なお、記入例に掲載している作成要領の趣旨と指示に従って回答してください。
- ・様式3-1a～3-3aについては日本語で、様式3-1b～3-3bについては留学先大学の使用言語で、それぞれ作成してください。

「留学を志す理由」「留学計画」「卒業直後の進路計画」について各様式に記入してください。以下に様式3-1、3-2、3-3があります。各1枚(A4用紙)で作成してください。

[記入例] 3-1. 留学を志す理由について

Excel

氏名

機構 海子

様式3-1

3-1. 留学を志す理由について【※3-1a は日本語、3-1bは留学先言語で記載】

【作成要領】

本項目の作成にあたっては、以下の要素を勘案しながら、与えられたスペースの中で、総合的に「留学を志す理由」について魅力と説得力のある記述を心がけてください。

まず、①今から20～30年後の将来までに、どのような人材あるいはエキスパートとして、どのようなキャリア的もしくは社会的に成功と実績を収めた自己実現をしたいかという、将来の夢と意義のある目的、そして、その目的を達成するための最低限の目標を書いた後、②「そのように思うようになったエピソード(理由ときっかけ)」や「将来目指したい自分のイメージ(含む、性格・気質等)」を簡潔に記述してください。

続いて、その将来の目的・目標に対して、③自分の適合性を始め、現在の自分に備わっているもの、不足しているものを客観的に分かりやすく記述し、④将来の目的・目標のために、これからどのような知識、技術、経験を得てどのように成長していく必要があるのか、また、どのようなことに取り組む必要があるのかを具体的に示してください。

さらに、⑤そのためには、今回の留学がどのような目的や理由で必要なのか、なぜ日本や他国ではなく、今回希望している国や大学、そして、その専攻である必要があるのかを説明してください。

最後に、本項目のまとめとして、⑥人生の集大成として、冒頭でふれた「将来の目的と目標」に記述された成功や実績などの社会貢献が自己実現でき、自分の人生の中でどれだけ重要な意味と意義があることなのかを、今回の留学で培うだろう人生経験を推測して含めながら、記述してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。
- ・説明を補完するための絵図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式についてA4用紙1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1、様式3-2、様式3-3共通)。

Excel

氏名

機構 海子

様式3-2

3-2. 留学計画について【※3-2a は日本語、3-2bは留学先言語で記載】

【作成要領】

本項目では、前述「3-1. 留学を志す理由について」で示した20-30年後の将来の夢と意義のある目的と最低限の目標を達成するための具体的な留学計画を記述します。作文にあたっては、以下の要素を勘案しながら、魅力と説得力のある記述を心がけてください。

まず、留学先の大学、専攻では①どのように特徴があるカリキュラムがあり、どのようなことをするのかを書き、そのようなコースから、これまでにどのような「能力や経験」を身に付けた人材を輩出してきているのかを書き（推測可）、②それは、自分の将来の夢と意義がある目的と最低限の目標に対して、どれくらい適合していて、どのくらい自分が将来に必要なとする知識・技術・経験が修得できるのかを可能な限り具体的に記述してください。（但し、ここでいう「能力や経験」とは、単なる知識・技術だけではありません。以下、同様。）

次に、③留学する初年度における学修と生活面での目的と目標を立て、それに対して、④履修予定科目や取り組み予定の学内外の活動、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、日常からの意識や姿勢を書き、初年度までに修得予定の「能力や経験」について記述してください。

続いて、⑤留学する2年目における学修と生活面での目的と目標を立て、それに対して、⑥履修予定科目や取り組み予定の学内外の活動・社会貢献、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、初年度とは違う日常からの意識や姿勢を書き、留学の中間地点である2年目が終了するまでに修得予定の「能力や経験」を記述してください。

同様に、⑦留学する3年目における学修と生活面での目的と目標を立て、それに対して、⑧履修予定科目や取り組み予定の学内外の様々な活動、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、最初の2年とは違う日常からの意識や姿勢を書き、卒業する1年前までに達成すべき修得予定の学術的・キャリア的な「能力や経験」について記述してください。

そして、⑨留学最終年度における学修と生活面、ならびに、卒業までの準備についての目的と目標を立て、それに対して、⑩履修予定科目や取り組み予定の学内外の様々な活動、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、最初の3年とは違う日常からの意識や姿勢、そして卒業までに達成すべき修得予定の「能力や経験」について記述してください。

さらに、冒頭の①で述べたコースのカリキュラムがこれまでに輩出してきた人材と比べて、留学を終わるまでの自分の「能力や経験」、そして、将来の目的・目標と比較してみて、あなたの留学計画が、留学の目的と目標ならびに自己実現を達成できる確かな計画であることを示してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。但し、すべての項目を詳細に記述するとスペースが不足することも勘案して作成してください。
- ・説明を補完するための図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式について1枚以内に収まるよう作成してください（様式3-1、様式3-2、様式3-3共通）。

Excel

氏名

機構 海子

様式 3-3

3-3. 卒業直後の進路計画について【※3-3a は日本語、3-3bは留学先言語で記載】

【作成要領】

本項目では、前述「3-1. 留学を志す理由について」及び「3-2. 留学計画について」の記述を踏まえ、以下の要素を勘案しながら、魅力的で説得力のある記述を心がけてください。

まず、前述の3-1、3-2を踏まえて、①留学直後には、どのような知識や技術によりどのような「能力と経験」を身に付け、あなたがどのようなことができる人物になっているかを人格・性格・気質等を含めて記述してください。

次に、②20～30年後の将来の目的と目標を達成するために、申込をしている学位課程の卒業直後の進路について、そして、③その次のステージの進路でどのような精進を行い、研鑽を積み、どのような人的ネットワークを形成していくか、④最終的に20～30年後の目的と目標とする自己実現に向けて、どのようなことをしていくのかを記述してください。

最後に、⑤留学中、あるいは、卒業直後の進路、そして、その次のステージの進路の中で培った「能力や経験」と、形成した人的ネットワークをキャリアとしてどのように活かし、日本及び留学先国の社会・大学・人々に貢献して将来の目的・目標の自己実現に繋げていくのかという卒業後の構想を可能な限り具体的に記述してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。
- ・説明を補完するための図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式について1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1、様式3-2、様式3-3共通)。

※様式3-1b、3-2b及び3-3bについては、様式3-1a、3-2a及び3-3aと同様の設問ですが、留学先大学の使用言語で作成してください(全員必須)。

※様式はシートごとに分かれていますので、所定の様式に作成してください。

- ・ 3-1a、3-2a、3-3a : 日本語
- ・ 3-1b、3-2b、3-3b : 留学先大学の使用言語

4 日本社会への貢献について【日本語で記載】(様式4)【Excelデータ】

- ・日本社会への貢献について、記入例に掲載している作成要領の趣旨と指示に従い、A4 1枚以内で回答してください。

〔記入例〕

A4判1枚で作成してください。

Excel

氏名

機構 海子

様式4

4. 日本社会への貢献について【日本語で記載】

【作成要領】

本項目の作成にあたっては、以下の要素を勘案しながら、与えられたスペースの中で、「日本社会への貢献」について、魅力と説得力のある記述を心がけてください。

様式3-1、3-2、3-3では、個人の立場からの留学についての理由、計画、進路を記述してもらいましたが、ここでは、①その個人の立場からの将来の夢と意義がある目的と目標を達成したときのあなたが、あるいは、達成するなかでのあなたが、②国内外の場所や時間・時期を問わず、あなたの人生や生涯を通じたキャリアや社会活動を通じて、どのようにして日本社会に貢献できるかについて、可能な限り具体的に記述してください。

また、ご存知の通り、国費を投入する場合、国民に対して説明が必要となります。あなたが、自費や民間奨学金ではなく、②なぜ国費で留学をする必要があるのか、そして、③あなたはどのようにそれを還元するつもりなのかについて記述し、それが、④日本の国や社会にとってどれだけの意味と意義があり、どのように国民に説明し・納得してもらおうつもりなのかを明確に記述してください。

なお、ここでは、内容順序や文章構成は自由です。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の前述の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。
- ・説明を補完するための絵図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式についてA4用紙1枚以内に収まるよう作成してください。

5 留学をテーマとした自己PR (様式5) 【Excelデータ】

- ・留学をテーマとした自己PRについて、記入例に掲載している作成要領の趣旨と指示に従い、A4 1枚以内で回答してください。

〔記入例〕

A4判1枚で作成してください。

Excel		氏名	機構 海子
		様式5	
5. 留学をテーマとした自己PR			
【作成要領】 今回の奨学金を応募するにあたり、「留学と自分」をテーマとした自己PRについて、本様式1枚を使って自由に記載してください。 これまでの「様式3」ならびに「様式4」に比べて、ここでは、あなたの個性に基づく、創意工夫が一番求められます。与えられたテーマに対して、全く自由に、存分な自分を表現してください。			
【注意事項】 <ul style="list-style-type: none">・本様式は、必ずExcelデータ入力により、作成してください。・絵図表ならびに写真等を貼りつけても構いません。但し、必ず1枚に収まるよう作成してください。			

6-1 留学先大学情報（様式6-1）【Excelデータ・PDF（別添資料）】

- (1) 「様式6-1-①（第1希望）」については全員提出、「様式6-1-②（第2希望）」及び「様式6-1-③（第3希望）」については希望者のみ、提出してください。
- (2) 留学先の大学について、募集案内等で以下（①～⑥）の事項を確認し、該当部分の日本語訳を様式6-1に記載してください。その際、抜粋した留学先大学の情報（HPなどの写し）を様式6-1の資料として添付し、添付した右上に「別添〇」と記載してください。なお、別添資料はA4版・片面印刷に統一してください。
- (3) 留学先大学の情報（HPなどの写し）については、情報の抜粋元付近に日本語訳を記載するとともに、マーカーや下線（必ず色付きとする）を引く等、わかりやすく明示して提出してください。また、①～⑥のいずれの箇所かを示すよう①～⑥の番号も該当箇所付近に記載してください（⑦の情報に関して、外務省ページの添付は不要です）。

① 取得できる学位及び学位取得プログラムの概要

- ・申請者が取得予定の学位を本欄に記載するとともに、必ず、学位名の明記された根拠資料を添付してください（大学のAdmissionsやDegree programsのページ等を印刷したもので構いません）。
- ・リベラルアーツカレッジ等、入学時に専攻が決定していない場合でも、申請時に検討している学位の情報を記載してください。
- ・本制度の支援対象は、「学士（Bachelor）」課程の第1学年に入学し、「学士（Bachelor）を取得する教育課程のみ」です。例えば、準学士を取得後学士課程に編入する場合や、学士・修士一貫課程、Bachelor以外の学位を授与する課程については対象外となりますので、ご応募いただけません。支援対象となる課程への留学であることが確認できない場合、審査対象となりませんので注意してください。

② 「学士」の学位取得にかかる期間

- ・学位取得までに必要な正規課程への登録期間等を詳細に調べてください。

③ 留学先大学の概要

④ 求められる語学能力

⑤ 学事日程

⑥ 学位取得に必要な授業料金額（初学年）

- ・初学年の金額を現地通貨で記載してください。
- ・見込み額の場合はその旨を記載してください。
- ・保険料は除いてください。その他任意の支払いとなっている経費は含みません。

⑦ 留学先大学所在都市の危険情報

- ・留学先大学の所在都市の危険情報を外務省海外安全HPで確認し、以下のいずれかを記載してください。

なお、「レベル2：不要不急の渡航はやめてください」以上に該当する地域に所在する大学への留学は支援対象外とします。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------------|
| 支援不可 | { | 「レベル4：避難してください。渡航はやめてください（避難勧告）」 |
| | | 「レベル3：渡航はやめてください（渡航中止勧告）」 |
| | | 「レベル2：不要不急の渡航はやめてください」 |
| 支援可 | { | 「レベル1：十分注意してください」 |

〔記入例〕 6-1 留学先大学情報（様式6-1） ※第2希望の例

応募者がセル黄色塗りの箇所を入力してください。データが入力されれば、白くなります。本シートは保護されていますが、入力可能セルの書式は変更可能です。【希望者のみ提出】

<p>大学入学準備コース必須の場合の例</p>		<p>Excel・PDF(根拠資料)</p>		氏名	機構 海子																																
<p>6-1-②. 留学先大学情報(第2希望)</p>																																					
<p>平成30年度「海外留学支援制度(学部学位取得型)」留学先大学情報【学部正規課程】</p>																																					
<p>大学名: シエンキコウ大学</p>																																					
<p>様式1に入力した大学名(第二希望)(日本語名)が反映されます。</p>																																					
①	<p>取得できる学位及び学位取得プログラムの概要(枠に収まらない場合は別紙にて記載すること)</p> <p>Bachelor of Law</p> <p>大学入学準備コース修了後、法学部の1年生として学士課程に入学する。カリキュラム上、入学から3年でBachelor of Lawを取得し、卒業することが可能である(詳細は別紙参照)</p> <p>必ず、学位名の明記された根拠資料を添付するとともに、本欄に学位名を記載してください。</p> <p>* 抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/admissions/bachelor/law (別添 1)</p>																																				
②	<p>学士号取得期間(学位取得までに必要な正規課程への登録期間等を詳細に調べること)</p> <p>3年</p> <p>支援の総月数: 留学開始から学位取得までの全期間 (支援の総月数: 35 か月) 平成30年度月数: 留学開始から平成31年3月までの期間 (平成30年度月数: 0 か月)</p> <p>* 抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/facultyoflaw (別添 2)</p>																																				
③	<p>留学先大学の概要(枠に収まらない場合は別紙にて記載すること)</p> <p>シエンキコウ大学は、創立200年の伝統を持ち、これまで各分野に優秀な人材を輩出してきた。現在では世界各国から留学生が集まり...</p> <p>【全般】 本様式は、エクセルデータ入力により、作成してください。 各入力欄を選択すると、注意書きが表示されます。 注意書きをよく読んで入力してください。 緑塗りのセルは、プルダウンから該当を選択してください。</p> <p>* 抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/generalinformation (別添 3)</p>																																				
④	<p>求められる語学能力</p> <p>TOEFL iBT 80点 又は IELTS 6.0</p> <p>* 抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/admissions/requirements (別添 4)</p>																																				
⑤	<p>学事日程(入学までの日程を含むこと)</p> <p>【大学入学準備コースを1年履修した後、2019年度の入学となるが、直近の学事暦を参考として記入】</p> <table border="0"> <tr> <td>2018-2019年度</td> <td>入学式</td> </tr> <tr> <td>2018年9月10日</td> <td>新入生オリエンテーション・履修登録期間</td> </tr> <tr> <td>2018年9月10日~14日</td> <td>第一学期授業期間</td> </tr> <tr> <td>2018年9月17日~12月1日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> <tr> <td>2018年12月1日~12月15日</td> <td>クリスマス休暇</td> </tr> <tr> <td>2018年12月16日~2019年1月14日</td> <td>第二学期</td> </tr> <tr> <td>2019年1月15日~4月12日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> <tr> <td>2019年4月15日~4月19日</td> <td>第三学期</td> </tr> <tr> <td>2019年4月22日~7月19日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> <tr> <td>2019年7月22日~7月26日</td> <td></td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>2019-2020年度</td> <td>履修登録期間</td> </tr> <tr> <td>2019年9月10日~14日</td> <td>第一学期授業期間</td> </tr> <tr> <td>2019年9月17日~12月1日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> <tr> <td>2019年12月1日~12月15日</td> <td>クリスマス休暇</td> </tr> <tr> <td>2019年12月16日~2020年1月14日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td></td> </tr> </table> <p>授業開始時期が、本制度による支援の開始時期となります。授業開始時期のわかる詳しい学事日程を記載してください。</p> <p>* 抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/currentstudents/academiccalendar (別添 5)</p>					2018-2019年度	入学式	2018年9月10日	新入生オリエンテーション・履修登録期間	2018年9月10日~14日	第一学期授業期間	2018年9月17日~12月1日	期末テスト期間	2018年12月1日~12月15日	クリスマス休暇	2018年12月16日~2019年1月14日	第二学期	2019年1月15日~4月12日	期末テスト期間	2019年4月15日~4月19日	第三学期	2019年4月22日~7月19日	期末テスト期間	2019年7月22日~7月26日		2019-2020年度	履修登録期間	2019年9月10日~14日	第一学期授業期間	2019年9月17日~12月1日	期末テスト期間	2019年12月1日~12月15日	クリスマス休暇	2019年12月16日~2020年1月14日		
2018-2019年度	入学式																																				
2018年9月10日	新入生オリエンテーション・履修登録期間																																				
2018年9月10日~14日	第一学期授業期間																																				
2018年9月17日~12月1日	期末テスト期間																																				
2018年12月1日~12月15日	クリスマス休暇																																				
2018年12月16日~2019年1月14日	第二学期																																				
2019年1月15日~4月12日	期末テスト期間																																				
2019年4月15日~4月19日	第三学期																																				
2019年4月22日~7月19日	期末テスト期間																																				
2019年7月22日~7月26日																																					
2019-2020年度	履修登録期間																																				
2019年9月10日~14日	第一学期授業期間																																				
2019年9月17日~12月1日	期末テスト期間																																				
2019年12月1日~12月15日	クリスマス休暇																																				
2019年12月16日~2020年1月14日																																					
.....																																					
⑥	<p>学位取得に必要な授業料金額(初学年)</p> <p>※見込み額でも可。納入必須の学費及び経費(履修登録料や施設管理料等)のみ計上すること。</p> <p>授業料(初学年): (通貨単位) £ (年額) 15,000.00</p> <p>対象期間(初学年): 平成31年9月17日 から 平成32年7月30日 確定/見込みの別: 見込み</p> <p>* 抜粋元: 大学パンフレット(別添6)</p> <p>レベル2~レベル4に該当する場合には、応募できません。</p> <p>(別添 6)</p>																																				
⑦	<p>留学先大学の所在都市の危険情報: 無し</p> <p>(「外務省 海外安全ホームページ」。添付は不要) 確認年月日: 平成29年10月1日現在</p>																																				
注	<p>※「抜粋元」には、各事項の確認をした募集案内等の該当ページ又はURLを記載し、抜粋元を別添1、2...として添付し、抜粋元の該当箇所に和訳をつける、下線を引く等分かりやすく明示すること。</p>																																				

資料番号を記入してください。その際、①～⑥のいずれの情報かわかるよう番号を明記してください。

様式 6-1-② ①学位情報 別添1

SHIENKIKO UNIVERSITY

Home > Admission > Degree programs > Undergraduate > Bachelor of Law degrees

Bachelor of Law (LLB)

Key information
Structure
How to apply
Tuition/Scholarships

Key information

SU Laws is home to an intellectually diverse and dynamic community of legal scholars. You will be able to take advantage of a range of teaching methods as part of your learning, and during lectures, seminars and tutorials, you'll have the opportunity to explore the principles of law.

(訳)シエンキコウ大学法学部は・・・

Program starts

September 2018 (訳)2018年9月開始

Duration

3 years (Full-time) (訳)3年間

Degree

Bachelor of Law (訳)法学士

該当箇所にマーカー(色付き)を引いたうえで、日本語訳を記載してください。

※この外、①～⑥の事項に関する情報については、同様に情報の抜粋元を添付し、**該当箇所にマーカー(色付き)**を引いたうえで、**日本語訳**を記載してください。

6-2 大学入学準備コースにかかる情報（様式6-2）【Excelデータ・PDF（別添資料）】

※該当者のみ

- ・願書（様式1）中、「大学入学準備コース」を「必須」と選択した大学についてのみデータを作成します。
- ・第1希望大学の大学入学準備コースについては「様式6-2-①」、第2希望大学については「様式6-2-②」、第3希望については「様式6-2-③」に、それぞれ入力してください。様式を間違えるとデータが正しく出力されませんので十分に注意してください。
- ・基本的な記入方法は「6-1 留学先大学情報（様式6-1）」と共通です。注意が必要な箇所を以下に記します。

①本制度における「大学入学準備コース」とは

- ・本制度の支援対象となる「大学入学準備コース」とは、日本との教育制度の相違から、学士課程の入学資格を得るために必ず修了する必要がある教育課程をいい、一部の国においてのみ実施している課程です。語学能力や入試成績の理由等から、あるいは各自の任意により受講する語学研修や補習コースは対象外ですのでご注意ください。

②大学入学準備コースの期間（詳細に調べること）

- ・平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に開始するコースが対象です。
- ・正式な学部課程における学位取得期間については、様式6-1に記載するため、こちらには含めないでください。

大学入学準備コース	必須	※日本の教育制度との相違から準備コースの履修が必須となる場合のみ「必須」を選択すること。	
III-2.大学入学準備コースについて【※語学能力不足を補うための語学コースは支援対象外なので記載不要です】			
履修機関名	SHIENKIKO UNIVERSITY FOUNDATION SCHOOL (日本語名) シエンキコウ大学予備教育課程	所在国(地域)	英国
		所在都市	ロンドン
コース等の名称	FOUNDATION COURSE J (日本語名) Jファウンデーションコース		
住所	101-104 Piccadilly London W1J 7JT		
準備教育課程期間	平成30年10月1日	から	平成31年8月8日
※大学入学準備コースから開始する必要がある場合は、本制度に採用された際には、まず大学入学準備コースの期間を支援期間とします。 修了後は、IIに記載した正規の学部課程への進学が確認できた場合、支援の継続を行います。			

(次頁へ続く)

〔記入例〕 6-2 大学入学準備コースにかかる情報 (様式6-2)

応募者がセル黄色塗りの箇所を入力してください。データが入力されれば、白くなります。本シートは保護されていますが、入力可能セルの書式は変更可能です。【該当者のみ提出】

<p>【重要】第1希望大学と第2希望大学で様式が異なるので、必ず所定の様式に入力してください (本例では、第2希望のみ準備コースが必須なので、様式5-2-②に入力する)。</p>		<p>Excel・PDF(根拠資料)</p>																			
<p>氏名 機構 海子</p>		<p>様式6-2-②</p>																			
<p>6-2-②. 大学入学準備コースにかかる情報 (第2希望)</p>																					
<p>平成30年度「海外留学支援制度 (学部学位取得型)」留学先情報 【大学入学準備コース】</p>																					
<p>機関名: シエンキコウ大学予備教育課程 様式1に入力した準備教育機関名第二希望(日本語名)が反映されます。</p>																					
①	<p>大学入学準備コースの期間 (詳細に調べること)</p> <p>11か月</p> <p>支援の総月数: 留学開始からコース終了までの全期間 (支援の総月数: 11 か月) 平成30年度月数: 留学開始から平成31年3月までの期間 (平成30年度月数: 6 か月)</p> <p>*抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/foundation (別添 1)</p>																				
②	<p>留学先入学準備コースの概要 (枠に収まらない場合は別紙にて記載すること)</p> <p>本大学入学準備コースは、学士課程に入学する資格を持たない学生向けに設置されている1年間の学習プログラムであり、学生は、本コースを修了後シエンキコウ大学の学士課程に進学することができる。本コースの特徴は、...</p> <p>【注意】 本制度の支援対象となる「大学入学準備コース」とは、一部の国において実施している、日本との教育制度の相違から大学入学前に必ず修了する必要のある教育課程をいいます。 語学や入試の点数不足を補う補習コースは対象外ですのでご注意ください。</p> <p>本様式は、エクセルデータ入力により、作成してください。</p> <p>各入力欄を選択すると、注意書きが表示されます。注意書きをよく読んで入力してください。</p> <p>緑塗りのセルは、プルダウンから該当を選択してください。</p> <p>*抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/foundation/generalinformation (別添 2)</p>																				
③	<p>求められる語学能力</p> <p>TOEFL iBT 72点 又は IELTS 5.5</p> <p>*抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/foundation/admission (別添 3)</p>																				
④	<p>学事日程 (準備コース入学から正規課程入学まで。準備コース入学までの日程を含むこと)</p> <table border="0"> <tr> <td>2018-2019年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2018年9月24日~28日</td> <td>学籍登録~新入生オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2018年10月1日~12月1日</td> <td>第一学期授業期間</td> </tr> <tr> <td>2018年12月1日~12月15日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> <tr> <td>2018年12月16日~2019年1月14日</td> <td>クリスマス休暇</td> </tr> <tr> <td>2019年1月15日~4月19日</td> <td>第二学期</td> </tr> <tr> <td>2019年4月22日~4月26日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> <tr> <td>2019年5月1日~7月31日</td> <td>第三学期</td> </tr> <tr> <td>2019年8月1日~8月8日</td> <td>期末テスト期間</td> </tr> </table> <p>授業開始時期が、本制度による支援の開始時期となります。授業開始時期のわかる詳しい学事日程を記載してください。</p> <p>*抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/foundation/schedule (別添 4)</p>	2018-2019年度		2018年9月24日~28日	学籍登録~新入生オリエンテーション	2018年10月1日~12月1日	第一学期授業期間	2018年12月1日~12月15日	期末テスト期間	2018年12月16日~2019年1月14日	クリスマス休暇	2019年1月15日~4月19日	第二学期	2019年4月22日~4月26日	期末テスト期間	2019年5月1日~7月31日	第三学期	2019年8月1日~8月8日	期末テスト期間		
2018-2019年度																					
2018年9月24日~28日	学籍登録~新入生オリエンテーション																				
2018年10月1日~12月1日	第一学期授業期間																				
2018年12月1日~12月15日	期末テスト期間																				
2018年12月16日~2019年1月14日	クリスマス休暇																				
2019年1月15日~4月19日	第二学期																				
2019年4月22日~4月26日	期末テスト期間																				
2019年5月1日~7月31日	第三学期																				
2019年8月1日~8月8日	期末テスト期間																				
⑤	<p>大学入学準備コースの修了に必要な授業料金額 (見込み額でも可。納入必須の学費及び経費 (履修登録料や施設管理料 等) のみ計上すること。)</p> <p>授業料: (通貨単位) £ (年額) 10,000.00</p> <p>対象期間: 平成30年10月1日 から 平成31年8月8日 確定/見込みの別: 見込み</p> <p>レベル2~レベル4に該当する場合には、応募できません。</p> <p>*抜粋元: http://www.shienkikouniversity.ac.uk/foundation/admission/tuition (別添 5)</p>																				
⑥	<p>留学先大学の所在都市の危険情報: 無し</p> <p>(「外務省 海外安全ホームページ」。添付は不要) 確認年月日: 平成29年10月1日現在</p>																				
注	<p>※「抜粋元」には、各事項の確認をした募集案内等の該当ページ又はURLを記載し、抜粋元を別添1、2...として添付し、抜粋元の該当箇所^①に和訳をつける、下線を引く等分かりやすく明示すること。</p>																				

※様式6-1と同様に、①~⑤の事項に関する情報について、情報の抜粋元を添付し、**該当箇所**に**マーカー (色付き)**を引いたうえで、**日本語訳**を記載してください。

※No.7～No.15の書類については、1つのPDFファイルに統合して提出します。

7 様式6別添 留学先大学の情報（HPなどの写し）【再掲】 【PDF】

- ・留学先大学の情報（HPなどの写し）については、情報の抜粋元付近に日本語訳を記載するとともに、マーカーや下線（必ず色付きとする）を引く等、わかりやすく明示して提出してください。また、①～⑥のいずれの箇所かを示すよう①～⑥の番号も該当箇所付近に記載してください（⑦の情報に関して、外務省ページの添付は不要です）。
- ・本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、A4版・片面印刷に統一して準備してください。
- ・作成に係る詳細は、様式6の作成方法を確認してください。

8 日本国籍又は日本での永住許可を証明する書類【PDF】

- ・国籍が日本国籍である場合は、日本国籍を証明できる書類を添付してください。
有効なパスポートを所持している場合は、パスポートの写しを提出してください。
- ・国籍が日本国籍でない場合には、永住許可を受けていることを証明できる書類を添付してください。
- ・住民票等マイナンバーが記載されている証明書類を提出する場合は、マイナンバー部分を黒塗りして見えないようにしてください。
- ・本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、A4版・片面印刷に統一して準備してください。

9 留学希望大学へ提出した出願書類一式【PDF】

- ・留学希望大学に実際に提出した出願書類を添付してください。
- ・本制度への応募時点において留学希望大学にまだ出願していない場合は、実際に提出する予定の出願書類を添付してください。
- ・オンライン出願の場合は、申請画面のスクリーンショット等を添付してください。その場合、申請内容がきちんと確認できるよう、文字の不鮮明や文字切れ等に注意するとともに、過度に文字が小さくならないよう印刷設定を調整してください。
- ・いずれの書類にも、日本語訳を添付してください。日本語訳は応募者自身で作成して構いません。
- ・本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、A4版・片面印刷に統一して準備してください。

10 入学許可書【PDF】

- ・願書（様式1）の「入学許可書の状況」で「有」を選択した者については、入学許可書を提出してください。
- ・日本語訳を添付してください。日本語訳は応募者自身で作成して構いません。
- ・本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、A4版・片面印刷に統一して準備してください。

11 英語（語学）能力試験証明書、語学能力証明書【PDF】

(1) 留学先大学での使用言語が**英語**である者

- ・申請締切日から過去2か年以内（平成27年11月15日以降）に受験したTOEFL iBT(Internet-based Test)の得点が72点以上のExaminee's Score Record もしくはIELTS 5.5(Academic Module)以上の成績証明書を提出してください。

(2) 留学先大学での使用言語が英語以外である者

- ・留学先大学が求める語学能力が具体的点数として明示されている場合は、留学先大学が明示する語学能力以上であることが証明できる当該言語の検定試験の証明書（申請締切日から過去2か年以内（平成27年11月15日以降）のもの）を提出してください。
- ・留学先大学が求める語学能力が具体的点数として明示されていない場合は、留学先大学の入学許可書で語学条件を満たしていることを示してください。

※本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、**A4版・片面印刷に統一して準備してください。**

12 卒業見込み証明書または修了見込み証明書【PDF】

- ・卒業見込み証明書または修了見込み証明書を提出してください（既卒の場合は卒業証明書又は修了証明書）
 - ・高等学校卒業程度認定試験の合格者は、合格証明書を提出してください。
 - ・卒業・修了年月は平成29年4月～平成30年3月であることとしますが、高等学校卒業程度認定試験合格者の合格年度は問いません。
- ・本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、**A4版・片面印刷に統一して準備してください。**

13 家計支持者の平成28年中の所得を証明できる書類【PDF】

- ・家計支持者（父母がいる場合は父母双方、父母がいずれかの場合はその片方、父母がいない場合は家計を支えている者）の所得を証明できる書類を提出してください。父母がいる場合は、所得の有無を問わず双方の書類を提出すること。

① 定職収入の場合：源泉徴収票の写し（給与所得者）

確定申告書（控）の写し（給与所得者以外）

② 平成28年中の所得がない場合は、市町村役場発行の所得証明書を提出してください。

※本書類については、他の証明書類と合わせて1つのPDFに統合し、提出します。PDFに空白ページが生じないように、**A4版・片面印刷に統一して準備してください。**

14 連絡人（保護者）届出書兼同意書（応募者本人及び連絡人が作成）【PDF】

※手書きで作成後、PDF化（押印あり）

- ・届出書兼同意書に記載することができる者は、原則として以下①～④すべてを満たす者とし、なお、未成年者は連絡人になることができません。

① 日本国内に居住する3親等内の成人した親族（両親、祖父母、叔父・叔母等）

② 派遣学生からの相談等に適切に対応できる者

③ 派遣学生が災害・事故・病気等の不測の事態に遭遇した場合に適切に危機管理対応が

15 出願書類確認表【PDF】※手書きで作成後、PDF化

申請書の様式が揃っているかどうかを確認して、レでチェックの上、提出してください。

〔記入例〕

本様式を印刷し、手書きで作成後、他の申請書類と合わせて1つのPDFに統合してください。

15.出願書類確認表										
(1)書類の作成について【確認をし、チェック欄に✓を記入してください】										
提出方法	No.	様式番号	書式等	作成者	申請書類名	対象者	提出部数	留意点	チェック	
オンライン提出	Excel	1	様式1	所定(願書ファイル)	応募者	願書	全員	1部	エクセルで作成した後、写真を貼付すること	✓
		2	様式2	所定(願書ファイル)	応募者	履歴書	全員	1部	A4判1枚で作成すること	✓
		3	様式3-1a	所定(願書ファイル)	応募者	留学理由・留学計画・卒業後の進路計画(日本語)	全員	1部	各項目ごとにA4判1枚で作成すること	✓
			様式3-2a							
			様式3-3a							
		4	様式3-1b	所定(願書ファイル)	応募者	留学理由・留学計画・卒業後の進路計画(留学先使用言語)	全員	1部	各項目ごとにA4判1枚で作成すること	✓
			様式3-2b							
			様式3-3b							
		4	様式4	所定(願書ファイル)	応募者	日本社会への貢献について	全員	1部	A4判1枚で作成すること	✓
	5	様式5	所定(願書ファイル)	応募者	留学をテーマとした自己PR	全員	1部	A4判1枚で作成すること	✓	
	6-1-①	様式6-1-①	所定(願書ファイル)	応募者	留学先大学情報(第1希望)	全員	1部	審査員が見やすいように参考資料を添付し、 マーカー と 和訳 を付けること	✓	
	6-1-②	様式6-1-②	所定(願書ファイル)	応募者	留学先大学情報(第2希望)	第2希望がある者	1部	第2希望がある場合は、第1希望と同じ要領で作成すること	✓	
	6-1-③	様式6-1-③	所定(願書ファイル)	応募者	留学先大学情報(第3希望)	第3希望がある者	1部	第3希望がある場合は、第1希望と同じ要領で作成すること	—	
	6-2-①	様式6-2-①	所定(願書ファイル)	応募者	大学入学準備コースにかかる情報(第1希望)	準備コース対象者(※1)	1部	審査員が見やすいように参考資料を添付し、 マーカー と 和訳 を付けること	—	
	6-2-②	様式6-2-②	所定(願書ファイル)	応募者	大学入学準備コースにかかる情報(第2希望)	第2希望の準備コース対象者(※1)	1部	第2希望がある場合は、第1希望と同じ要領で作成すること	✓	
6-2-③	様式6-2-③	所定(願書ファイル)	応募者	大学入学準備コースにかかる情報(第3希望)	第3希望の準備コース対象者(※1)	1部	第3希望がある場合は、第1希望と同じ要領で作成すること	—		
PDF	7	様式6別添	HPなどの写し	応募者	「留学先大学の情報(HPなどの写し)」	全員	1部	第2希望・第3希望・準備コース該当者は、全ての様式に添付すること	✓	
	8	—	証明書類(写)	—	日本国籍又は日本での永住許可を証明する書類(写)	全員	1部(写)	マイナンバーが記載されている場合は黒塗りで隠すこと	—	
	9	—	大学への出願書類(写)	和訳は応募者が作成	留学希望大学への提出書類一式(写)	全員(※2)	1部(写)	和訳を添付すること	✓	
	10	—	入学許可書(写)	和訳は応募者が作成	入学許可書(写)	該当者(※3)	1部(写)	和訳を添付すること	—	
	11	—	証明書類(写)	—	語学能力に係る証明書(写)	全員(※4)	1部(写)	応募締切日から2年以内の証明書であること	✓	
	12	—	証明書類(写)	—	卒業見込み証明書又は修了見込み証明書(写) 高等学校卒業程度認定試験の合格者については合格証明書(写)	全員	1部(写)	平成29年度中の卒業又は修了であること(高等学校卒業程度認定試験については、合格年度は問わない。)	✓	
13	—	証明書類(写)	—	家計支持者の所得を証明する書類	全員	1部(写)		✓		
郵送提出	14	連絡人(保護者)届出書兼同意書	所定	応募者及び連絡人(保護者)	連絡人(保護者)届出書兼同意書	全員	1部	連絡人・保護者欄は手書き・押印すること。連絡人は 日本国内在住の成年 であること	✓	
	15	出願書類確認表	所定	応募者	出願書類確認表	全員	1部		✓	
16	—	証明書類(原本)	在籍学校	調査書又は成績証明書	全員(※5)	1部	調査書は封印状態で提出すること (成績証明書は【写】で構わない)	✓		
17	推薦状	所定	在籍学校の長	推薦状	全員(※5)	1通	・封印状態で提出すること ・学校長に作成してもらうこと(学校長以外無効)	✓		

※1 日本との教育制度の相違により大学入学前に準備コースが必要となる場合作成すること。
 ※2 本制度への応募時点において、留学希望大学がまだ募集要項を公開していない場合には、添付を省略して構わない。
 ※3 願書(様式1)入学許可書の状況で「有」を選択した者については、入学許可書を提出すること。
 ※4 留学先での使用言語が英語の場合はTOEFL iBT又はIELTSの成績証明書。英語以外で具体的な点数等明示されている場合は各言語検定試験結果
 ※5 高等学校卒業程度日程試験合格者については不要

(2)書類の提出について【様式の入力が完了したら、このファイルを提出してください】

チェック項目	チェック内容	チェック
1	Excelファイルの名前は「○○_H30 様式.xlsx」である。 ※○には氏名を入力	✓
2	PDF化対象書類(7~15)を所定の順番に並べ替え、全てA4版・片面印刷で統一した。	✓
3	対象書類全てを1つのPDFファイルに統合し、ファイルの名前を「○○_申請書類.pdf」にした。(※○には氏名を入力)	✓
4	Excelファイル、PDFファイルともオンラインシステムで提出した。	✓
5	調査書及び推薦状については、厳封のまま、配達記録の残る方法により郵送した(宅配便でも可)。	✓

※No.16・No.17の書類については、封入されたまま、郵送により提出します。

16 調査書又は成績証明書 (在籍学校に作成を依頼)【郵送 ※開封せず封入のまま提出】

- ・高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部の卒業者は調査書を提出してください。なお、封入されている場合は、開封せず封入のまま添付してください。
- ・専修学校高等課程卒業生、高等専門学校3年次修了者は、成績証明書を提出してください。なお、封入されている場合は、開封せず封入のまま添付してください。
- ・高等学校卒業程度認定試験の合格者は、調査書・成績証明書の提出は不要です。

17 推薦状【推薦者用】 (在籍学校の長が作成)【郵送 ※開封せず封入のまま提出】

- ・所定様式により、卒業・修了した学校の長からの推薦状を提出してください。
- ・学校長以外による推薦は無効ですので必ず学校長に作成を依頼してください。
- ・推薦状は推薦者が封印したものを未開封のまま機構に提出してください。開封されたものは無効になります。
- ・高等学校卒業程度認定試験合格者は、推薦状の提出は不要です。

6. 申請書類の提出

(1) 体裁

① Excel形式

願書ファイル(様式1~6)については、所定のExcelファイルにて提出します。

- ・ファイル名:「○○_H30 様式.xlsx (※○には氏名を入力)」
- ・全てのシートを削除せず提出してください。

② PDF形式

「5. 申請書類の作成」で説明した 7 様式6別添 留学先大学の情報 (HPなどの写し) から 15 出願書類確認表については、応募者がPDFを作成し、提出します。

- ・ファイル名:「○○_申請書類.pdf (※○には氏名を入力)」
- ・関係書類を1つのPDFファイルに統合します。
- ・関係書類は、本手引き及び出願書類確認表に掲載されている順番に並べた上で、空白ページが出来ないように、A4版・片面印刷に統一してPDF化してください。

③ 調査書及び推薦状

調査書及び推薦状については、厳封のまま、配達記録の残る郵便又は宅配便により提出してください。

(2) 提出方法

① Excelデータ及びPDFファイル

オンラインシステムを通じて提出してください。詳細は、事前登録が完了した方に対しEメールでご案内します。

② 調査書及び推薦状

調査書及び推薦状については、厳封のまま、配達記録の残る郵便又は宅配便により提出してください。

(3) 提出先

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー30 階
レジェンダ・コーポレーション株式会社 「海外留学支援制度受付センター」 宛

(4) 提出期限

平成 29 年 11 月 15 日（水曜日） 17 時
※ 申請書類はオンライン提出必着
※ 調査書及び推薦状は郵送必着
※ 提出に先立ち、事前登録が必要です（「4. 事前登録」参照）。

(5) 留意事項

申請に当たっては、本手引きのほか、募集要項及びオンラインシステムのマニュアルをよく確認してください。

7. 応募に関する問い合わせ

海外留学支援制度受付センター（受託者）レジェンダ・コーポレーション株式会社
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー30 階
電話：03-6863-5558（営業時間：平日 9 時～18 時）
E-mail：jasso-ryugaku@s-hr.jp